乳幼児版

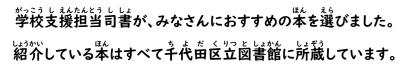


イチオシ!

鱳

なはなしトレイと

千代田区読書振興センター 学校支援発行 2019 年 12 月









長野 ヒデ子/作・絵 のら書店



みなさんもよくご存じの「げんこつやまのたぬきさん」を読が矢好きな 絵本作家の寝野さんがアレンジしました。絵本の中でたぬきさんの流に出 てくるのは、うさぎさん。おっぱいのんで…あれ、ダンスを始めましたよ! 朝るい絵は、見ていて完気が出ます。 最後のページには、楽譜と手遊びの 振り付けが書かれています。 いっしょに歌って踊って楽しみましょう!





『ねずみのいえさがし』

ヘレン・ピアス/さく まつおか きょうこ/やく 童話屋



1匹のねずみが、蒙を探しています。蒙くもなく、暑くもなく、やかましくもなく、広すぎず、辣すぎず、もちろん危険でない家です。そんな素晴らしい家をねずみは見つけることができるのでしょうか? くるくると動き向っているねずみの姿と、リズミカルな文章が楽しく、1984年の出版以来、養く愛され続けている写真絵本です。







『うらしまたろう』

ときた しろう さいわ あきの ふく が ふくいんかんしょてん 時田 史郎/再話 秋野 不矩/画 福音館書店



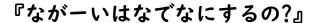
北風が吹き荒れる日に、たろうは「恋のかめを励けました。すると、かめは美しい娘に一姿を変えてお礼を言いにやってきました。たろうは、娘に連れられて「竜宮城へ行きますが…。有名な「普話」ですが、民俗学に詳しい著者の再話と日本画家による色彩豊かな絵は、新鮮な感動を与えてくれます。浦島太郎のお話を知っている子も楽しめる絵本です。







0~2歳



さいとう まき ぶくいんかんしょてん 齋藤 槇/さく 福音館書店



ぞうは寝い鼻を使って、食べたり飲んだりします。紫ちゃんぞうもおかあさんの真似をしてやってみますが、なかなか難しいようですね。それでも「じょうずでしょう」と得意顔。おかあさんの優しい瞳がその様子を見つめます。紫ちゃんは見守られているからこそ、姿心して様々なことに挑戦できます。柔らかいタッチの絵は、読み手を穏やかな気持ちにしてくれますよ。



『ずいずいずっころばし』

せがわ やすお/作 福音館書店



「ずいずいずっころばし」は苦くから伝わるわらべうた・鬼्きめ頃の一つです。この頃を、今にも動き出しそうな楽しく伸びやかな絵で表したこの本は、馴染み深い頃に「黄び方」を吹き込んでくれているようです。絵をたっぷり味わった後は、親子や麦だち筒士で頃いながら手遊びをしてみませんか。 遊び芳を知らない人は、図書館に調べにきてくださいね。









『ネズミはひとり森のなか』

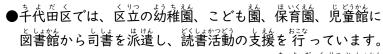
トニー・ジョンストン/ぶん ダイアン・スタンレー/え 小川 仁央/やく 評論社

森の節の小さな家に、小さなネズミがひとりぼっちで住んでいました。 はずかしがりやのネズミは、家の外へ出たことがありません。ある後、ひとりでため意をついていると、どこからか静かな談話が聞こえてきました。 満天の星の下、雪でおおわれた寒い森の節ではじまる友情の物語。 クリスマスに読んであげたいお話です。









●「おはなトレイン」のバックナンバーは、千代田区立図書館のホームページで公開しています。

